

～海風にそよぐ砂丘の女王～ スカシユリが咲いています

国営ひたち海浜公園の「砂丘エリア」では、鮮やかなオレンジ色の花が魅力のスカシユリが咲いています。強い日差しと潮風を受けながら、力強く花を咲かせる姿から“砂丘の女王”と呼ばれています。また、夏の砂丘エリアでは絶滅や準絶滅が危惧される希少な動植物も観察できます。



砂丘エリア 撮影/2024年7月5日

◆名前の由来になっている花姿

スカシユリはユリ科ユリ属で、高さは20～60cm、海岸の砂地などに生える多年草です。花径8～10cmほどの杯状になり、鮮やかなオレンジ色の花を上向きに咲かせます。花弁の下方が細くなり、隙間ができて透けて見えることが名前の由来です。梅雨時に咲き始め、雨が花弁の隙間から落ち、水がたまらない機能的な花の形をしています。

【スカシユリ】 ■開花時期/7月上旬～下旬 ■場 所/砂丘エリア



下から見たスカシユリ (2024年7月3日撮影)

◆公園ボランティアによる保全活動

本公園内においてスカシユリは保護活動を実施しなければ、いずれは絶滅してしまう可能性がある植物です。公園では、2006年からスカシユリの増殖活動に取り組んでおり、人工授粉や採種、播種や苗の植え付け、防獣ネットによる保護などを実施しています。これらの活動を行う公園ボランティアの「野生植物パートナー」は、希少植物の開花株数調査や園場での育成、増殖活動など、年間を通して希少な動植物が生息・生育する砂丘環境を守る活動をしています。



スカシユリ球根植付 (2023年11月10日撮影)

◆海浜公園ならではの希少な動植物

当公園の砂丘エリアは、久慈川から流出した砂が漂砂となり海岸に堆積し、その砂が北東風により押し上げられて形成されています。夏の砂丘エリアでは、茨城県で準絶滅危惧に指定されている植物「カワラナデシコ」や「カワラサイコ」、環境省で絶滅危惧に指定されている昆虫「カワラハンミョウ」など、海浜公園ならではの多様な動植物が観察できます。



カワラナデシコ (2024年7月3日撮影)

Information

7/20(土)から9/1(日)まで、「とびっきり! 夏フェア!」を開催します。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・マウリダ



TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>